

大阪歯科大学 兵庫県同窓会報

昭和 57 年 10 月 1 日

No. 36 - 弘

発行所 大阪歯科大学兵庫県同窓会
神戸市中央区山本通5丁目7-18
電話 (078) 351-4181

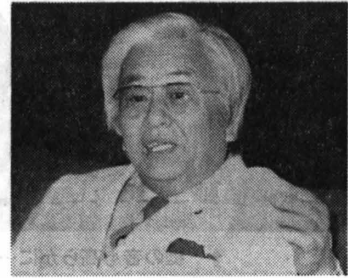
編集発行人 前田光俊

伝統と校風をもって

大阪歯科大学兵庫県同窓会

会長 鹿嶋

弘



今日は久々に白数学長にわれわれの会員大会へご出席いただき本当にうれしい一日であります。

4月1日よりわたしは兵庫県歯科医師会長として奥野先生のあとをついで、校友の先生方と県下の各大学の同窓の方々の絶大なるご支援を得て会務を行っております。

白数学長はいつも私が県の会長としてやっていくこともまた兵庫県の会員の融和ということをいつも心にとめていただいているのがお言葉の端々から分っておりました。この暖かい学長のお気持をはだで感じながら今日の会員大会を行いたいと思います。

新入、新卒の先生方に申し上げたい。新入の先生方には私はいつも自分の甲に似た穴を掘りなさいとっております。現在のように非常に苦しい時代にあっては経済状態に適応した診療形態を作ってやっていただきたい。

新卒の先生方はこれから同窓会に入って先輩の先生方と仲良くやっていくわけですが、

先輩の良い面を学びながら、お互いのお出合いを大切に仲良く同窓会を守ってほしい。

以前のように歯科大学が6校しかなかった時代にはそれなりの学校の卒業生にはカラーとでもいっていいものがあったが、現在のようになり大学が増加するとカラーというものは無くなったが校風というものはあると思います。

校風とは母校に対する自信だと思えます。この自信と母校の歴史を大切にしていかなければならない。大歯は歯科大学の中で名門校といわれているが、他校出身の先生方から敬愛の目で見られるような同窓会でなければならぬ。

今日の大会を通じて皆様が兵庫県のなかで仲良くするだけでなしに、その伝統と校風をもって日本の歯科界をリードする抱負でやっていきたいと思っております。

(第29回会員大会あいさつより)

も く じ

会長あいさつ	1
第29回会員大会	2
新卒業生・新入会員	4
昭和56年度総会	5
大歯兵庫県同窓会役員会 (S57・6・5)	7
大歯兵庫県同窓会常任理事会 (S57・5・10)	7
昭和57年度大阪歯科大学兵庫県同窓会歳入歳出予算書	8

ポートピアホテルに拡がる親睦の輪



第29回 会員大会

↑ 槌の音も高らかに……
鹿嶋会長 白数学長による鏡割り

昭和57年度大阪歯科大学兵庫県同窓会員大会は、淡路分会の当番で7月17日（土）午後2時より、ポートピアホテル・和楽の間に大阪歯科大学白数学長はじめ多数の来賓を迎え、400名近い会員が参加して盛大に開催された。

大会は定刻、前田専務理事の司会により、村井副会長が開会のことばを述べたのち、予定を変更して広島県同窓会の30周年の式典に参加される奥野本部同窓会会長が久しぶりにお元気な姿であいさつに立たれ、コンピューターから脳細胞まで話題豊富なあいさつで満

場を沸かせたのち鹿嶋会長のあいさつにうつった。

中塚常任理事による来賓、新入、新卒会員の紹介ののち来賓の祝辞となり、白数学長が最近の大学の状態、ご自分の心境などを静かに語られ会員に感銘を与えた。

このあと、新入、新卒を代表して渡部豊君が謝辞を述べたのち、当番分会の竹谷淡路分会長の歓迎のあいさつがあり、声高らかに学歌を斉唱、塩見副会長の閉会のことばで大会を終了した。

→
いざ出陣!!
廣田分会長ら赤穂浪士姿であいさつ

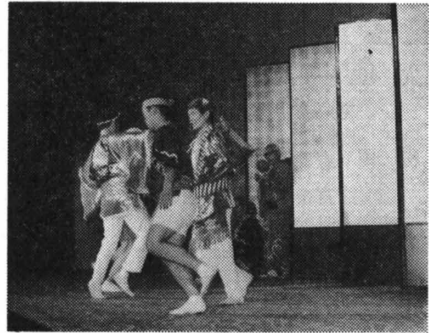


タコ踊りやカラオケ大会

盛況の懇親会

懇親会は会場を借染の間にうつし、高津実行副委員長の司会により、一瀬実行副委員長が開宴のことばを述べ、竹谷分会長のスライドを使った淡路島の紹介というユニークな企画ののち、白数学長、鹿嶋会長のお二人による鏡割りがあり会の気分は盛り上がった。

来年度当番の播磨分会の廣田会長はじめ分会の先生方による赤穂浪士姿でのあいさつやカラオケ大会、「タコ踊り」などお世話に当たられた淡路分会の方々の心のこもった催し



↑ 全国的に有名になった
淡路の「タコ踊り」

を楽しみながら美酒をくみかわしながら親睦の時を過ごした。

来賓御芳名(順不同)

(大学関係)

大歯大学長 白 数 美 輝 雄

(本部関係)

会 長 奥 野 半 蔵
副 会 長 北 川 正 夫
副 会 長 織 田 正 豊
相 談 役 阿 部 勉

(近府県支部)

大阪支部会長 奥 野 喜 一
(田 中 正 忠)
京都支部会長 竹 内 茂
(片 尾 信 之)
奈良支部会長 有 山 金 吾
(城 勝)
和歌山支部会長 久 保 昌 弘
滋賀支部会長 芦 田 佐 六
岡山支部会長 森 本 太 郎

(近府県歯科医師会長)

大 阪 府 奥 野 喜 一
(成 瀬 悟)
和 歌 山 県 川 崎 武 彦

(県下同窓会校友会関係)

東 歯 大 林 幹 雄
日 歯 大 坂 下 保 太
(石 本 正 孝)
京 城 歯 中 田 宏
日 大 歯 中 島 忠 人
(後 藤 昭)
東京医科歯科大 船 曳 義 雄
九 歯 大 田 中 務
阪 大 歯 村 田 石 雄
愛知学院大歯 柳 田 秀 夫
神奈川歯大 佐 多 進
岐 阜 歯 大 謝 花 幹 樹
城 西 歯 大 河 本 吉 康
(福 富 昭 伯)

(公務関係)

指 導 医 療 官 笠 原 義 人

(太陽神戸銀行)

本店業務渉外部長 田 潤 敏 樹
兵庫支店長 藤 田 昌 弘

新 卒 業 生

安 藝 一 成
神戸市中央区山本通4-24

板 垣 恵 輔
西宮市愛宕山13-17

岩 木 宏
高砂市高砂町浜田町2-7-13

大 矢 啓 史
神戸市須磨区高倉町1-2-15

賀 来 伸 行
芦屋市東山芦屋町75-11

川 人 照 美
宝塚市仁川高丸1-3-5

金 村 正 一
神戸市須磨区潮見台5-13-10

河 合 峰 雄
多紀郡篠山町山内町54

海 本 一 夫
神戸市中央区山本通3-16-5

木 村 公 一
芦屋市山手町21-8

久 野 元 生
神戸市垂水区狩口台5-3

島 津 俊 二
川西市栄町17-3

西 藤 佳 彦
西宮市甲子園三保町2-7

西 本 親 弘
尼崎市南武庫之荘2-8 ルネ武庫之荘

野 口 秀 夫
芦屋市六麓花町11-1

松 本 明 彦
兵庫県揖保郡新宮町新宮655

松 田 裕 子
尼崎市杭瀬大崩9

前 田 康 祐
宝塚市雲雀丘3-3-34

山 崎 則 子
神戸市東灘区御影山手5-12-15

吉 竹 弘 行
西宮市上甲東園4-8-4

吉 田 利 正
姫路市元塩町21

渡 部 豊
神戸市灘区赤松町3-3-10
六甲グランドハイッ

渡 部 輝 子
神戸市灘区赤松町3-3-10
六甲グランドハイッ

新 入 会 員

原 公 明
三木市末広1-13-23

依 藤 正
北区甲栄台4-1-31 北鈴神鉄駅ビル

青 江 千 恵 子
宝塚市平井1-5-16

森 本 哲 司
姫路市栗山町174-2

須 永 紘 子
神戸市北区有馬町825

小 林 新 吾
尼崎市東難波町5-30-16 小林義人歯科

奥 田 晴 己
三原郡緑町山添89

堀 内 道 郎
西宮市南甲子園2-22-1

西 藤 隆 弘
西宮市上甲子園1-15-13

岡 秀 俊
明石市西新町2-1-5

昭和57年度総会

57年度事業計画など審議



本年度の大歯兵庫県同窓会総会は6月5日(土)午後4時より兵歯会館5階講堂で開催され、57年度予算、事業計画など3議案が審議され原案どおり可決承認された。

総会には前田専務理事の司会、津島副会長が「本年4月1日より鹿嶋新執行部が誕生し、兵庫県歯科歯師会にとって大きな世代交代が円満かつ順調に行われた。本日は予決算などの重要審議を控えている。充分にご審議賜わりたい」と開会のことばを述べたあと、座長に村井副会長が選出され、議事録署名人に前田孝俊(須磨区)、久保龍三(尼崎市)の両氏が座長より指名された。

ついで鹿嶋会長が「なんとしても一番多くの会員数を擁している大歯が各人の自覚のなかで、こんどの新執行部の協力的体勢、また他校に対する責任のあり方を比較しながら今日までご協力頂いたと思っている。厳しい歯科界に対し大歯同窓会が一丸とならなければいけない。同窓会を体に喩えるなら足であり、足がしっかりしないと屋体骨を背負っている兵庫県も大学もいろんな問題が出てくる。同時にその足の裏の仕事をしているのが私たち役員であると思う。地道に、ゆっくり同窓会を基盤にして兵庫県を考え、大学を考え日本の歯科界を支えていかねばならない。先輩の残した業績を他府県に汚されないためにも充

分に護って会務運営に対しては積極的に取り組み、いま一層の努力を図らねばならない」と挨拶した。

このあと、学位受領者表彰にうつり、下記の7人が鹿嶋会長から賞状を授与され、受賞者を代表して黒田哲先生から謝辞があった。

学位受領者

瀧	北	祐	輔	大16	姫路市
黒	田		哲	大3	尼崎市
藤	多	文	雄	大21	西宮市
北	上	英	司	大21	灘区
菊	池		肇	大20	尼崎市
太	田		宏	大15	中央区
小	林	久	夫	大18	播磨

報告事項

(1) 会務報告(前田専務理事)

会務報告に先だち、香西正昭先生ほか9氏の物故会員に対して敬虔な黙とうを捧げた。

- ・会員数 1,347名(昭和57年3月末現在)
- ・56年に開催された諸会議および本部外諸会議、第28回会員大会、同窓会主催の学術講演会など総会冊子に基づき前田専務理事から詳細な事業報告があった。

会計報告(溝井常任理事)

本部報告(志築常任理事)

議事

第1号議案 昭和56年度歳入歳出決算の承認を求める件

昭和56年度 大阪歯科大学兵庫県同窓会歳入歳出決算書

歳入金 18,475,424円
 歳出金 18,282,402円
 差引剰余金 193,022円

収入の部

科 目	決算額	予算額	比較		摘 要
			増	減	
第一款 会 費	15,141,000	14,640,000	501,000		
第1項 会 費	15,141,000	14,640,000	501,000		
第二款 雑収入	1,322,403	1,199,000	123,403		
第1項 雑 入	65,103	100,000		34,887	預金利子
第2項 寄 付 金	0	1,000		1,000	
第3項 本部手数料	1,257,300	1,098,000	159,300		
第三款 繰越金	2,010,021	2,010,000	2,021		
第1項 繰越金	2,012,021	2,010,000	2,021		
合 計	18,475,424	17,849,000	626,424		

支出の部

科 目	決算額	予算額	比較		摘 要
			報	減	
第一款 事務費	5,837,617	5,600,000	237,617		
第1項 事務費	2,743,000	2,500,000	243,000		
第2項 旅 費	1,055,360	900,000	155,360		
第3項 通信印刷費	1,770,005	1,800,000		29,295	
第4項 消耗品費	122,912	200,000		77,088	事務用品
第5項 雑 費	145,640	200,000		54,360	
第二款 会議費	3,111,770	2,500,000	611,770		
第1項 会議費	3,111,770	2,500,000	611,770		
第三款 事業費	9,333,015	9,040,000	293,015		
第1項 学 術 費	597,316	640,000		42,684	
第2項 広報宣伝費	226,000	200,000	26,000		会報発行
第3項 福祉厚生費	2,274,806	3,000,000		725,194	会員大会
第4項 表彰慶弔費	656,600	1,000,000		343,400	
第5項 諸見舞金	900,000	1,200,000		300,000	傷病見舞金 45名
第6項 渉外費	4,678,293	3,000,000	1,678,293		
第四款 予備費	0	709,000		709,000	
第1項 予備費	0	709,000		709,000	
合 計	18,282,402	17,849,000	433,402		

第2号議案 昭和57年度事業計画ならびに昭和57年度歳入歳出予算に関する件

昭和57年度事業計画

1. 会員の学術研修に関する件
2. 会員の福祉共済に関する件
3. 第29回大歯大兵庫県同窓会会員大会の開催新卒・新入歓迎会を含む
4. 慶弔に関する件
5. 会報の発行
6. 各歯科大学同窓会校友会の親睦
7. 渉外に関する事項
8. その他目的達成のために必要な事項

第3号議案 会費賦課、徴収方法に関する件
同窓会本部会費は9,000円(年額) 県同窓会費は12,000円(年額)である。

以上3議案が溝井常任理事よりそれぞれ説明され、挙手による採決の結果、原案どおり全員賛成で可決、承認された。

なお、第1号議案の提案説明のあと、平崎監事より監査報告があった。

協議事項では(1)本年度会員大会に関する件(別掲参照)(2)その他が協議され、村井副会長のことばで日程をを終えた。

大歯兵庫県同窓会役員会 □ 57年6月5日(土) □

総会に先立ち、大歯兵庫県同窓会役員会が6月5日(土)【午後3時から兵歯会館5階ホールで開かれ、津島副会長の開会の辞。座長に村井副会長が選出されたあと、藤井昭(垂水区)、蓮池俊明(西脇)両氏を議事録署名人に指名。

後刻の総会に付議する協議題ならびに7月

17日に開催される第29回会員大会について審議された。

さらに、春の叙勲で藍綬褒賞の栄に浴された大浦先生の受章祝賀会の日程などについても併せて協議され、志築常任理事の閉会のことばで終了した。

大歯兵庫県同窓会常任理事会

□ 57年5月10日(日) □

大歯兵庫県同窓会常任理事会は、5月10日(日)午後7時から兵歯会館会議室で開かれ志築常任理事の司会、津島副会長の開会のことばではじまった。

座長に村井副会長が選出され、議事録署名人に廣田昌逸、飯田浩司両常任理事が座長より指名された。

冒頭あいさつに立った鹿嶋会長は「私が4月1日より兵歯会長になり、同窓会の先生方のご支援を感謝している。行動する執行部ということで会員の先生方が抱えている問題を積極的に解決するよう取り組んでいる。長丁場であるので地道に確実にやっていきたい。

また、一身上の都合で専務が欠員になっているが、4月1日より兵歯専務の前田光俊先生を同窓会の専務に委嘱している。前田先生には了解を得ており、ご協力いただきたい。

わたしたち母校を中心に、母校愛で結ばれていることを内外に示したいと思う」と結んだ。

このあと、新たに同窓会専務に委嘱された前田兵歯専務より「ご指名ですので先生方の

ご協力を得て残りの一年の任期を勤めさせていただきます。」と挨拶があり、報告にうつった。

(報告)

- | | |
|----------------|--------|
| ① 会務報告 | 中塚常任理事 |
| ② 会計現況報告 | 溝井常任理事 |
| ③ 本部報告 | 渡部副会長 |
| ④ 名誉会長の業績を讃える会 | 前田専務理事 |

(協議事項)

イ、昭和57年度事業計画および予算案について 溝井常任理事

事業計画については、毎年踏襲の計画で、奥野名誉会長の業績を讃える会だけが異なっている。

ロ、昭和56年度決算について 溝井常任理事
ハ、総会日程について 前田専務理事

ついで廣田播磨分会長から来年度会員大会の開催地についての説明があり、大筋において了承され、こんご次期当番分会である播磨分会でさらに検討を進めてもらうことに決まり、渡部副会長の閉会のことばで日程を終えた。

昭和57年度大阪歯科大学兵庫県同窓会歳入歳出予算書

歳入金 16,419,000円

歳出金 16,419,000円

収入の部

科 目	本年度予算	前年度予算	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 会 費	15,000,000	14,640,000	360,000		月1,000円× 12ヶ月×1,250名
第1項 会 費	15,000,000	14,640,000	360,000		
第二款 雑収入	1,226,000	1,199,000	27,000		
第1項 雑 入	100,000	100,000			預金利子
第2項 寄付金	1,000	1,000			
第3項 本部手数料	1,125,000	1,098,000	27,000		9,000×1,250名× 10%
第三款 繰越金	193,000	2,010,000		1,817,000	
第1項 繰越金	193,000	2,010,000		1,817,000	
合 計	16,419,000	17,849,000		1,430,000	

支出の部

科 目	本年度予算	前年度予算	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 事務費	4,600,000	5,600,000		1,000,000	
第1項 事務費	2,500,000	2,500,000			
第2項 旅 費	900,000	900,000			
第3項 通信印刷費	800,000	1,800,000		1,000,000	
第4項 消耗品費	200,000	200,000			事務用品
第5項 雑 費	200,000	200,000			
第二款 会議費	2,500,000	2,500,000			
第1項 会議費	2,500,000	2,500,000			
第三款 事業費	8,540,000	9,040,000		500,000	
第1項 学 術 費	640,000	640,000			
第2項 広 報 費	200,000	200,000			会報発行
第3項 福祉厚生費	3,000,000	3,000,000			会員大会
第4項 表彰慶弔費	700,000	1,000,000		300,000	
第5項 諸見舞費	1,000,000	1,200,000		300,000	
第6項 渉外費	3,000,000	3,000,000			
第四款 予備費	779,000	709,000	700,000		
第1項 予備費	779,000	709,000	700,000		
合 計	16,419,000	17,849,000		1,430,000	

自然増は予備費へ繰入れ